

Y's Men International

# YMI

# WORLD



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

Only for private distribution to members

YMI ワールド  
2019-2020 No.1  
日本語版



悲しい逝去：次期国際会長ポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセン／国際会長の書簡：前進／YMI がポール・トムセン元国際会長をバ  
ランタイン賞によって顕彰／国際会長が次期国際会長故ジェイコブセンに哀悼の意を表す／展望：私たちは学ぶのか・・・、訓練してリーダー  
になれるのか・世界は YMI を必要としている／マイクロヒストリー：ワイズメンズクラブ国際協会がセイロン／スリランカに定着・シドニー  
ワイズメンズクラブ・私たちの運動を国際的なものとしたクラブ・・私達の遺産の一つを称える・次世紀に向けて／イベント：YMI がロンド  
ンでの YMCA 175 周年に参加／コミュニティーサービス：香港、ロシア、米国、韓国、コンボからの報告／魂の真言： 夜に何の恐怖を感じ  
ることなく床につく

## 編集長のページ

## 読者の皆さまへ



今号の編集をまさに終えようとしていたとき、次期国際会長のポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセンの訃報に接しました。私たちすべてにとって実に悲しい死です。彼の家族や祖国デンマークで彼を愛した人たちにとってはもっと悲しいことです。私たちは、複雑なことがらに対しての彼の計画的で、

穏やか、冷静なアプローチを心から惜みます。ジェイコブセン夫人、私たちの思いはあなたとともにあって、全能の神があなたを慰め、これからの人生に力をお与えくださるようにお祈りします。

今号は、私たちの運動についてです。過去と現在について、「2022年とそれを超えて」の目標に応える挑戦に立ち上がるための奨励です。スリランカのリタ・ヘティアラチチとカナダのサンディー・レイノルズがそれぞれの国での運動の始まりについて思い出を語ることにリクエストに答えてくれました。そして、国際歴史家としての務めを忠実に果たして、デビー・レドモンドが、ポール・アレキサンダーの妻のロレイン・アレキサンダーについて書いてくれました。もしこれがなければ、彼女は、私たちの物語の中に登場しなかったでしょう。

今号の「マイクロストーリー」のセクションでは、これらや最も初期のクラブの情報が掲載されています。私たちは、これらが運動の唯一無二の純正な記録であるとは主張しません。書き手たちは、彼らの視点で、また、限られた情報に依って書いています。

シンガポールのエドワード・オン国際LTOD事業主任とインドのベニー・アウグスティンは、それぞれ、リーダーシップと私たちの運動の重要性について寄稿してくれました。両者とも、本誌は、クラブメンバーが考えるべき様々な材料を提供していると賞賛してくれています。同じようなトピックスに関して、強い信念をお持ちの方は、どうぞ寄稿してください。

そして、いつものように、コミュニティサービスの重要性を喚起する各地からのたくさんニュースが掲載されています。書評でもまた、大規模ではありますが、ひたむきな医師たちのチームによるコ

表紙：彦根ワイズメンズクラブ（西日本区）。過去22年継続して行われてきた彦根ワイズメンズクラブ杯少年サッカー大会の写真。

## ワイズメンインターショナル公式誌

国際本部：Ave Sainte-Clotilde 9, CH-1205 スイス

国際編集長：コシー・マッシュー

日本語版翻訳グループ：田中博之（委員長、東京多摩みなみ）、

青木一芳（千葉）、今城高之（横浜つづき）、利根川恵子（川越）、

太田勝人（東京町田スマイリング）、比奈地康晴（東京）、

倉田正昭（京都）、田尻忠邦（大阪）、谷川寛（大阪センテナアル）、

谷本秀康（東広島）、中井信一（奈良）

印刷：（株）三浦印刷所 三浦克文（岡山）

ミュニティーサービスの良い例を採り上げています。私たちはすべての人を助けることはできないが、すべての人が誰かを助けることはできるということは事実です。連載漫画のデイルパートの作者であるスコット・アダムスはこう言っています。「ちょっとした親切なんて無い。どんな行動もさざ波を起こし、必然的な終わりはない。」。何と正しいことでしょう！

コシー・マッシュー

## 私の本棚から

「限りないヴィジョン：いかにしてアラヴィンドは世界で最も偉大な思いやりのビジネスケースとなったか？」

パヴァイトラ K. メータ、スチトラ・シェノイ

この本は、盲目の世界を治そうという崇高な願い、非常に高い目標を持つインドのNPO アラヴィンドに捧げられています。しかし、本書を読み、その原動力であるヴェンカタスワミ博士（ドクターV）をより理解すると、読者は彼と彼のチームがこのことを達成できるかも知れないという思いになります。

白内障は、世界全体では盲目の48%、インドでは60%を占めていますが、この手術を大規模に行うという比較的にシンプルな目標から始め、アラヴィンドは伝統的なビジネス論理に立ち向かい、インドにおける最も大きな眼科病院となりました。実際には、これは控えめな言い方で、アラヴィンドは、世界最大です。そしてそれは、幾つかの度肝を抜かれる統計とともにそうになりました。

例えば、英国における国民保健サービスでは、毎年50万件を少し超える眼科手術を行っています。アラヴィンドは30万件行っています。でもこれは、核心となる部分ではありません。印象的なことは、アラヴィンドはイギリス全体の約半分の眼科手術を、その1%のコストで行っているということです。16億英ポンドに対して1,380万英ポンドです。経済力の違いを考慮してもこの差は膨大です。

同じように印象的なのは、著者のメータとシェノイが、無味乾燥な統計となっていたかも知れないことがらに関して、「限りないヴィジョン」の話の価値を高めた才能です。

35年の間に、アラヴィンドは3千2百万人以上の患者を扱い、400万人以上の手術を行ってきましたが、そのほとんどは、多額の補助金によってか無料で行われました。これは、国民のほとんどが一日2米ドル以下で生活している国で起こっていることなのです。

このスピードと変革の後ろにある原動力は、危機感です。ドクターVと3世代21人の眼科医からなる家族のチームを駆り立てるものがひとつあるとしたら、インドにおいて盲目は、単なる運命の不幸のねじれでは無く、多くの者にとっての死刑宣告を意味することです。視力、生活そして自己尊厳の三重の喪失であるということです。

ドクターVと彼のチームをたゆまない技術と手順の改良に導いたのはこの駆動力であり、読者は、どうして彼らがそれを成し得たか知りたくならざるを得ません。

（アマゾンで入手可能）

## 悲しい逝去

# 次期国際会長 ポール-ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセン 【1954-2019】



2019年9月4日、アルメニアのエレバンにて私たちの次期期国際会長ポール-ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセンが亡くなったという知らせを、私たちは大きな衝撃と悲しみとともに受けました。

彼は、デンマークの自クラブメンバーとともに、ワイズメンのグループとしてアルメニアを訪れていました。ある健康上の問題によって彼は、エレバンの病院に入院し、そこで手術を受けました。病院では回復途上にありましたが、容態が急変し、亡くなりました。

ポール-ヘンリックの予期しない逝去は、彼のご家族そしてより広い国際的なワイズメンの家族にとって大いなる悲しみです。私たちは、ご家族に心からの哀悼の意を表し、彼の永遠の安らぎを祈ります。



## 前 進

親愛なる皆さま、

国際議員は、日本の仙台に集い2019年の国際議会(ICM19)を開催しました。仙台は、東京から北へ約300kmの位置にある大都会で、国際議員の多くは、東京から新幹線で移動して来ました。仙台は、2011年に起きた大地震・津波の被災地から最も近い主要都市でした。私たちのうち多くの者は視察ツアーに参加し、この地域の被災状況と復興の現状を自分の目で確かめました。沢山の経験談と映像記録が心に触れました。

ICM19では、議員たちは、今年度に達成すべき一連の目標を承認しました。毎年度、その年の国際会長は彼らの目標数値を設定し、YMIがその使命を成功裏に果たすよう図ります。今年度は、国際会長の目標「各種献金の20%増、会員数の12%増」に対して、エリア会長たちは各自のエリアの目標を「各種献金の6%増、会員数の30%増」と設定しました。結果は恐らくそれらの中程に落ち着くと思いますが、力を合わせることによって、不可能に見えることが達成されることでしょう！昨年度の目標に対する目覚ましい達成が、最近、ムン・サン・ボン直前国際会長によって明らかにされました。コミュニティーサービスの傑出した成果に対する新しい表彰を、区ごとに1件授賞できるように決めました。

先日来、皆さまのクラブでも、この9月1日に始まった「100日間会員増強キャンペーン」について情報を得られたはずですが、私たちの目標を達成するために、一層の努力が求められます。ジョース・ヴァルギース国際書記長が、私たちの前進の助けになる計画を作成しました。すでに「チャレンジ22」計画によって、私たちのクラブは新会員を勧誘すること、新クラブを設立することを求められています。このキャンペーンの一助になるように、今後3年間、メネットなど配偶者がクラブの新会員になる場合は、国際会費を50%割引くことにします。

私は、来たる11月14-17日、YMI発祥の地オハイオ州トレドで開かれる第1回RDEサミットを心待ちにしています。この催しは、将来の指導者としての次期区理事の皆さんが、互いに知り合い、協力関係を結ぶとともに、世界の諸エリアにおいてYMIがどう機能しているかをよりよく理解することを通じてYMIの国際性を体験する、大きな機会になることでしょう。またこの機会に私たち皆が、ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産プロジェクトの進展について見聞し、YMCAとパートナーを組んでクラブ拡張や協働事業に当たることに思いを新たに、やる気を奮い立たせることになるでしょう。

今年度の私の目標には、YMIとYMCAとの協働関係を強めるための方策が含まれています。その核心部分はすでによりスタートを切っていますので、本誌次号にはこれについてもっと書くつもりです。会員増強は、YMIの健全な将来の重大な部分であり続けますが、それと同等に大切なのは、その際、私たちが会員として自分自身とワイズの組織をよく知ることです。私たちが、ワイズのブランドとイメージを世界中によく知られたものにし、このすばらしい組織を以前より多くの国に広めるための働きを続けることを、心から望みます。その実現のために皆様がこれまでなされたことに感謝を申し上げます。

ジェニファー・ジョーンズ  
国際会長



上記のメッセージは、ジェイコブセン次期国際会長の逝去の悲報が届くより前に書かれたものです。ジェニファー・ジョーンズ国際会長の同氏への弔辞を次頁に掲載します。(編集長)



## YMI がポール・トムセン元国際会長をバランタイン賞によって顕彰

2019年6月15日、デンマークのシルケボーで開かれたデンマーク区大会の中で、ポール・V・トムセン元国際会長がバランタイン賞をもって顕彰されました。同氏の YMI での長く卓越した働きと、多くの役職における 30 年以上の奉仕が認められたものです。

同賞は、850 ないし 900 人（ほぼデンマーク人および欧州の他の区の人々）出席の日曜の晩餐会の席上、同氏に手渡されました。私は、2018/2019 年度の直前国際会長として、またポールとは国際、ヨーロッパ地域の両方で 20 年来共に働いてきた者として、この顕彰を同年度のムン・サン・ボン国際会長および国際協会を代表して行ったことに名誉を感じました。

ポールと同氏夫人ボディルには事前に何も知らせていなかったもので、この賞と顕彰は兩人にとって大きな驚きであり、私と 3 人で演壇に立ち私が賞状を読んだ時は、深い感動の様子でした。この厳粛な顕彰式の終わりに、ワイズメン運動への長年の奉仕に対する感謝を



PIP ヘンリー・グリンドヘイム（左）から受けた賞状を示す PIP ポール・V・トムセン。右はトムセン夫人。

表す、温かい拍手が客席から長く続きました。

元国際会長ヘンリー・J・グリンドヘイム

## 国際会長が次期国際会長故ジェイコブセンに哀悼の意を表す

先週逝去された次期国際会長ポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセンの死を悼み、私は、悲しい心で綴ります。ポール・ヘンリックが、合併症で突然亡くなったのは、クラブがア



直前次期国際会長ジェニファー・ジョーンズより次期国際会長ラベルピンを譲り受ける、次期国際会長ポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブソン

ルメニアとその地の YMCA を訪問した時でした。

ポール・ヘンリックは、昨年、2019 - 2020 年の次期国際会長に選任され、7 月の仙台でのアジア太平洋地域大会でその任に就いたばかりでした。ポール・ヘンリックは、常に熱意と情熱と決意をもって、ワイズメンズクラブ国際協会が、その使命を遂行し、世界中のメンバーに奉仕していることを確かなものとするため最善を尽くしていました。彼の、ヨーロッパ地域会長としての国際議員の務め、YMCA リエゾンの役割および財務管理の技術は、彼のある種の特異な資質と熱意を表していました。私たちは、これからの 3 年間、ポール・ヘンリックが、彼の特別な貢献により、国際協会での高度な指導力を発揮してくれることを願っていました。また、私たちは、彼の友情と彼のいるところどこでも仲間の輪ができたことを惜しみます。

皆さん一人一人ならびに YMI 全体を代表して、私たちの愛と、深い同情の念を、この大きな損失の時におられるブリジットとご家族に捧げます。神様の愛に満ちた腕がご遺族を包み、この困難な時に必要な癒しと希望が与えられますように。デンマークの近い仲間が、また、さらに遠くのワイズの仲間が、いかなることでも可能な限り必要な支援を行うことを私は確信しています。

ジェニファー・ジョーンズ



## トレーニング:技術、知識、態度

エドワード K. W. オン LTOD 国際事業主任



リーダー達は生まれてくるものなのか、造られるものなのか？ これは、しばしば討論のテーマになります。ある理論では、人は、よりリーダーシップを発揮するように意図された一定の資質や特性を受け継ぐと言います。芸術家、音楽家、科学者、ビジネスマンなどが、単に偉大になったのではなく、潜在的可能性を生まれながらに持っていたということです。

それにもかかわらず、リーダーシップは、人格的な特性で、人が生まれつき持っているかあるいは若いうちに開発されたものです。これは、一般的には学習して得たものではありません。新しい考え方によると、リーダーシップの技量は訓練や指導により、一定のあるいは高度なレベルにまで高めることができるといいます。

近年、私たちの運動は、リーダーシップトレーニングがより重要となる局面におかれています。クラブのレベルからは、できるだけ早期に会員に対してそのような注意を払う必要性があります。会員が様々な役割のリーダーシップを担うようになるにつれ、より総合的なリーダーシップトレーニングが策定されなければなりません。

私たちは、教育という形態で学ぶことができます。それにはその重要性がありますが、より学術的で知識ベースになる傾向があります。一方、トレーニングはより実用的で、技術を基本とする、もしくは機能に焦点を当てたものとなります。

トレーニングとは、技量、知識、態度などを独特な方法で適用させる手順です。技量は、話題を容易化、分析、管理することで研修者がそこで学んだことを応用し、主導権を握り、創造性を発揮し、解決策を講じる能力を養います。恐らく「What」の後に「How」「Who」ということです。

全てのクラブメンバーは、私たちの運動、その歴史、目的、初期の指導者、地球的な発展、そして YMCA との緊密な関係およびパートナーシップについて十分知らされていなくてはなりません。各メンバーが献身的に奉仕するよう動機付けるには、「ひらめき」が必要です。

次のレベルでは、各区が、全てのコミュニティに合致

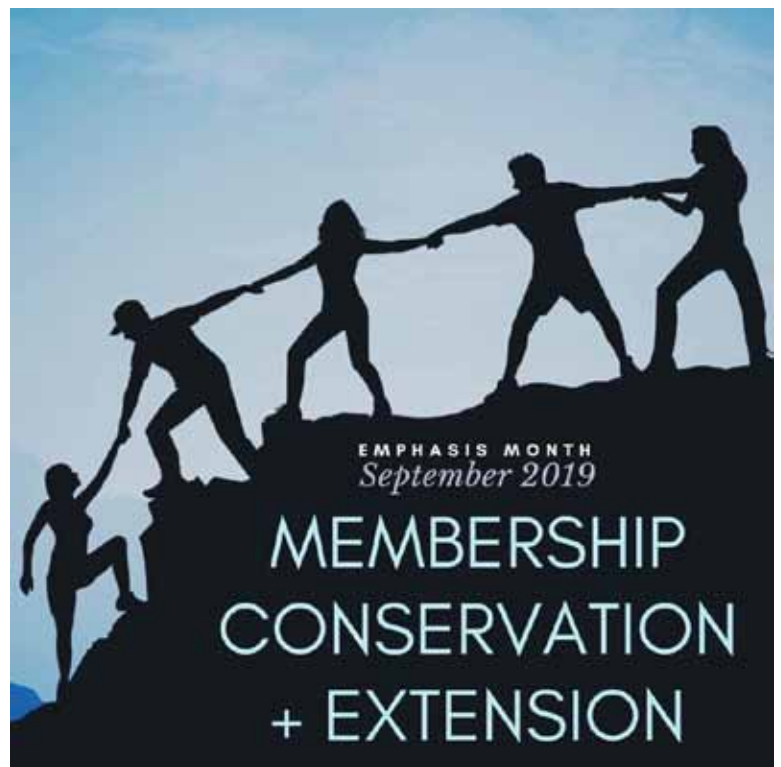
**トレーニングとは、技量、知識、態度などを独特な方法で適用させる手順です。**

するように推奨事項と内容を採用することができますが、類似性のレベルがより高い全ての区ではより標準化されたトレーニングに移行します。

基本的な内容と資料がありますが、毎年または一定期間のトレーニングは、国際レベルおよび地域レベルで決定したテーマ、目標、ゴールの達成に向けて調整する必要があります。

この目的を達成するために、毎年各地域レベルの次期区理事研修に代わって、第1回国際次期区理事サミットが、本年11月14日～17日の間、私たちの運動が誕生したオハイオ州トレドで開催されます。

これこそ、リーダーシップ大会、団結、異文化交流、人格形成と発見の祭典となるでしょう。これが Y サービスクラブとしての、また、世界 YMCA 同盟、あらゆる地域での YMCA 同盟、各地の YMCA において YMCA と共に働き、支援するワイズメンズクラブ国際協会です。私たちは、地域社会に奉仕し他の国際団体と協働するワイズメンとワイズウイメンです。



強調月間

2019年9月

メンバーシップ維持

+エクステンション

エドワードは教育者、YMCA 職員、公認書記・管理者、キリスト教指導者で、国際議員、アジア太平洋地域会長として奉仕

## 世界は YMI を必要としている

ベニー・アウグスティン



私たちは、テクノロジーの進歩と瞬時にコミュニケーションが取れる時代に住んでいます。まるで便利な機械装置の情報の中で、地球全体を手に持ち歩けるようになっていきます。

かつて、1900 年までは人間が得られる知識の量は 100 年掛かって倍増し、その後 25 年ごとに倍増し、現在は、13 か月で倍増されています。間もなく 12 時間の経過で倍増という時代となるでしょう。これまで 73 億 5 千万の人がこの地球上で生活するという事は考えられませんでした。

IOT や AI や機械技術などは、人間の生活に大きな役割を果たそうとしています。

技術の進歩によって距離というものがないなり、ビジネスが目覚ましく成長し、その発展を、私たちすべてが見ることができます。しかし、発展の裏には逆のことも起きています。技術の発展によって、文化面でのいらいだち、社会面での分断、格差の発生、そして人間関係の退化等々をもたらしています。私は、今の時代にとっても陥りやすいことについてのダライ・ラマの次の言葉を共有します。「私たちは、家は大きくなったが、家族関係は薄くなった。色々便利になったが、感受性は薄れてしまった。知識は増えたが、判断力が衰えてきた。専門家と称する人は増えたが、問題が増えた。より量を望むようになったが、質の面がおろそかになってきた。」

幸福を促進したり、孤独で過ごしているのを無くそうと、いくつかの国や機関が革新的なアイデアを打ち出したりしています。UAE では、「幸福担当大臣」を 2016 年から設け、英国では 2018 年から「孤独問題担当大臣」を設けています。インドのマディヤ・プラデーシュ州では、2016 年 4 月から「幸福担当省」を設け、2017 年 4 月には同じくインドのアンドラ・プラデーシュ州にも広がりました。そして最後に付け加えますが、ケアモアヘルス医療グループは、「連帯感担当役員」を設けています。

### 3つの効用

ハーバード大学は、75 年前に行った 724 人の調査の追跡調査を行いました。それによると、その内 60 人は現在 90 歳台になっても生存しています。同調査は、次の 3 つの重要な教訓を伝えています：

**ぜひ私たち、一人一人が中心となって行動し、あなたの近くや、親愛なる人々、友人をこのワイズ運動に招いてください。私たちが住んでいるこの世界は、ワイズダムを必要としています。あなたが大切な役割を占めているこの素晴らしいワイズ運動にあなたの寛大さが光り輝きますように。**

- ① 社会との交流は、実に良いことである。
- ② 人間関係の質の高さが大きな影響を与える。
- ③ 50 歳台で生活に満足している者は、80 歳台に達しても最も高い健康状態を維持している。

他人との良い交流を持っている者は、自分の身体を守るだけでなく脳も守っています。健全な社会は健全な人間を作ります。

私たちは、幸運にも「ワイズ運動」に携わっています。それは、運動を通して幸福度を高め、孤独を退ける、という重要な役割を担うことができます。現在 25,000 人の会員がありますが、平均 1 家族に 3 人いるとして、世界に 75,000 人いることを意味しています。私たちの運動は、人間的な繋がりを高め、また、私たちのネットワークは、会員がクラブで、部で、区で、地域で、そして国際レベルで自由に交流しあうフォーラムとなります。クラブレベルでは、この小さな家族のグループは、結婚、誕生日、健康、入院等の様々な場面において、自助グループの役割を果たしています。**なぜ、進むべきなのか？**

私たちは、同じ考え、同じ目的を持った仲間と関わりを持つことを望んでいます。私たちの運動は、同じ価値観や、展望を持つ人と人とを繋いでくれるプラットフォームを提供します。人生の中での幸福は、あなたが繋がりたいと望む人と繋がることにあります。

私は、あなたがあなたの友人や、親戚を私たちの運動に招き、ワイズダムの良さを祝うことによって、私たちの人生を祝うことを強く奨めます。今は、私たちや私たちの子供にとって、挑戦すべき特別なときです。そして一体感、自信、信頼を私たちの社会に広めていく必要があります。この広場は、一つ屋根の下で、一体感、自信、信頼を促進、育み、もたらせます。

読者の皆さん、この世界を私たちと次の世代にとって、今よりもっと住みよい場所にすべく神とともにお互い手を取り合いましょう。YMI は、活発な個人や、家族や、社会全体を作り上げることを助長し、人類共通の課題に向かって、影響力のある役割を担っています。活発な心の持ち主は、幸福な心を持ち、幸福な人生を過ごします。

ぜひ私たち、一人一人が中心となって行動し、あなたの近くや、親愛なる人々、友人をこのワイズ運動に招いてください。私たちが住んでいるこの世界は、ワイズダムを必要としています。あなたが大切な役割を占めているこの素晴らしいワイズ運動にあなたの寛大さが光り輝きますように！今いるこの場所を創設されたときより良いものにしましょう！

ベニー・アウグスティンはバンガロールの人事専門家であり南インド区のバンガロール区Ⅱの次期部長



## マイクロヒストリー

### ワイズメンズクラブ国際協会がセイロン / スリランカに定着

かつてセイロンとして知られていたスリランカは、1929年にワイズメンズクラブ国際協会の一部になった最初の国のひとつでした。ワイズメンズクラブ国際協会が、ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事を会長として、米国オハイオ州トレドで正式に設立され、登録されてから約7年後のことでした。米国ミネアポリスで開催された国際会議に出席した、当時コロombo YMCA の総主事であった R. O. ビューエル氏が、帰国後、YMCA と同協会の伝統的なつながりから、YMCA のメンバーを集め、YMCA 内



スリランカにワイズ運動を紹介した R. O. ビューエル



ケネス・ソマナダール

でクラブとして活動を始めました。1882年に YMCA が設立されて以来、ヨーロッパの出身者が数多く総主事を務めていましたが、R. O. ビューエル氏はコロombo YMCA の総主事になった最初のスリランカ人でした。彼は25年間総主事を務め、彼の総主事在任最長記録は今日まで破られていません。コロomboに本拠を置く最初のクラブは1929年に活動を開始しましたが、1930年12月3日になって正式にチャーターされ、当時のセイロン総督であったオリバー・グーネティレカ卿が初代会長に就任しました。

#### インドへの拡大

1940年にワイズ運動がインドに導入されたのは、コロomboワイズメンズクラブを通じて、マドラス(現在のチェンナイ)で最初のクラブが設立されたときでした。インドでは、運動がかなり急速に広がり、その結果、インド・スリランカ地区が1946年に誕生しました。1970-71年には、コロomboクラブのメンバーであるケネス・ソマナダールは、インド・セイロン区の理事になりました。また、1973年、コロomboクラブは、女性を正会員として認めたアジアで最初のクラブになりました。

シルビア・ペレラ女史が、女性として正会員になった最初の人物です。現在も、シルビアは、コロomboク



コロomboワイズメンズクラブ初代会長 オリバー・グーネティレカ卿



ラブの活動を通じて、ワイズ運動に積極的に参加しています。コロomboワイズメンズクラブのバナーがインドで最後に掲出されたのは1974年の区大会で、エルコン・ゴッドリーブとその配偶者のジャン・ゴッドリーブがバナーを持って入場しました。



1974年区大会でコロomboクラブのバナーを持って入場するエルコン・ゴッドリーブと配偶者のジャン・ゴッドリーブ

#### スリランカが独立した地域へ

1972年に国が共和国になったとき、セイロンはスリランカと改名し、誇りと喜びと相まって、新たにクラブをチャーターする勢いが盛り上がりました。それまでに、クラブはキャンディ(1962年7月28日)、モラトゥワ(1964年3月30日)、アンパライ(1964年11月)およびジャフナ(1971年10月30日)ですでにチャーターされていました。これらのクラブと、コロomboおよびバドゥッラ(1974)クラブを合わせると、スリランカが独立した区となることを考えるのに十分な数となりました。すぐにジュネーブの国際本部にその意向が表明され、1975年の日本の熱海での国際大会で、スリランカは独立した区になり、コロomboクラブのケネス・ソマナダールがスリランカ区の初代理事に就任し



シルビア・ペレラ



ました。理事としての任期中、ケネスはさらに2つのクラブ、チャヴァカッチェリ(1975年11月22日)とハットン(1976年3月)をチャーターしました。スリランカ区の最初の区大会は、1976年9月10日から12日にかけて、キャンディのアンピティヤ国立神学校で開催され、200人以上の参加者が集まりました。

スタンリー・アーノルドはケネスから理事を引き継ぎ、任期中に、ウェリマダ(1977年2月12日)およびクルネーガラ



スタンリー・アーノルド

ラ(1977年5月28日)の2つのクラブをチャーターしました。1977年10月に第2回区大会がコロンボで開催され、スタンリー・アーノルドが2度目の理事に選出され、1978年6月まで理事として継続しました。また、1979/80年には、アジア地域(現在のアジア太平洋地域)の地域副会長に任命されました。この期間中に、クラブのより大きな努力を激励するため、区の表彰システムが導入されました。これらの賞は、1978年6月に開催された第3回区大会で初めて発表され、当時最も新しいクラブであるクルネーガラが「ベストクラブ賞」の最初の受賞者でした。



ウイムジー・シンナタンビー

ウイムジー・シンナタンビーがスタンリーから理事を引き継ぎました。彼は、1978年から1980年までの2年間、理事を務めました。また、ウイムジーは、直前理事のスタンレーおよびシルビア・ペレラと共に、1978年7月にオーストラリアのメルボルンで開催された第53回国際大会に初めてスリランカ区を代表して参加しました。ウイムジーの任期中に、ウェラワッティ(1978年11月10日)とバツティカオラ(1980年5月30日)の2つのクラブがチャーターされました。この期間中に、最初のインターナショナル・ブラザークラブトライアングルも設立され、アーズ(デンマーク)、アーレンダール(ノルウェー)、モラトゥワ(スリランカ)がトライアングルIBCを形成しました。1979年に第4回区大会がウェリマダで開催され、モラトゥワは1979/80年のベストクラブに選ばれました。

グラッドストーン・テヴァタサンは、1980年の第5回区大会で理事を引き継ぎました。任期中に、マニペイ(1980年8月23日)とデヒワラ(1981年6月13日)の2つのクラブがチャーターされました。ウェリマダは、休眠状態にあったために解散となりました。ウェラワッティは、区大会で「ベストクラブ」賞を受賞しました。

さあ動こう!

区は設立後わずか5年でしたが、スリランカにおける地域大会の開催を要請されたことは光栄でした。そのため、イベントを計画し準備するためのホスト委員会が設立され、グラッドストーンが委員長を務めました。



グラッドストーン・テヴァタサン

ダレル・ペレラは、1981年5月20日、ウェラワッティのボーイズ・インダストリアル・ホームで開催された第6回区大会で理事に選出されました。また、この区で最初の YEEP 交換留学生であるデンマークのヘンリック・アウビエルグを受け入れました。彼はランカとマラーティー・ネシア夫妻によってホストされました。モラトゥワが「ベストクラブ賞」を受賞しましたが、バドゥッラは休眠状態のために解散となりました。

## 国際イベントのホスト

1981年、この地区は2つの国際的なイベントの開催地となりました。ひとつは、1981年7月27日から30日までの国際議会であり、もうひとつは、1981年7月31日からの第9回アジア地域大会です。この機会を利用して、



ダレル・ペレラ

1981年8月1日に、コロンボクラブが、出席するすべての参加者のために、アジア地域におけるワイズ運動50周年記念晩餐会を主催しました。地域大会には、世界各地の150人を超えるワイズメンとワイズメネットが参加しました。著名な参加者の中には、国際会長として就任した韓国のジョーゼフ・オーム、次期国際会長・マックス・ラーソン、元国際会長のブルース・プライス、クリスチャン・バツハ・アイバーソン、トッド・ガンケルマン、国際書記長・ビヨン・ペダーソン、国際会計・ジェラルド・ドリーがいました。議会で出された重要な問題の1つは、インドがアジア地域から離脱し、別の地域として機能するよう要請したことでした。その結果、隣人であるインドとスリランカの間には「別れ道」が生じ、スリランカはアジア地域の一部として継続することを選択しました。

ランカ・ネシアは、1982年6月18日から20日まで、ピリマタラワ神学校で開催された第7回区大会で理事を引き継ぎました。その年のテーマは「新



ランカ・ネシア

## マイクロヒストリー

シドニーワイズメンズクラブ — 私たちの運動を国際的なものとしたクラブ—  
元地域会長 サンディー・レイノルズ

ランチョンクラブの運動は、20世紀初期に発生致しました。それは、1905年の最初のロータリークラブで始まりました。次の10年の間に他のサービスクラブとグループが作られました。その中には1920年にオハイオ州トレドYMCA内に作られたクラブがあります。最初のクラブは、直ぐには成功に至りませんでした。当然、生みの苦しみがありました。しかし、1921年までにTolymcaクラブと言う名前でポール・ウィリアム・アレキサンダーと言う新進気鋭の若い弁護士リーダーシップの下で、それはほぼしっかりと確立されました。

オハイオ州の他のYMCAがその様なクラブの価値を見出した時、彼らは、情報を要請しました。そして、その後まもなく6つのクラブが作られました。当然、その名前Tolymcaはこれらのクラブの名前に相応しくなかったので、「ワイズメンズクラブ」の名前が選ばれました。ご存知の様に「ワイズ」は、YMCAのYの所有格です。常にクラブの名前は、YMCAに繋がっています。ウィル・M・クレッシーが第一次世界大戦中に陸軍キャンプの芸人として海外に行った際、彼は「ASSOCIATION MEN」(その頃のYMCAの定期刊行物)に記事を書きました。彼はこれらの記事に「ウィル・M・クレッシー、東方のワイズメンズの一人」として、署名しました。ポール・ウィリアム・アレキサンダーはこの記事を見て、クレッシーに連絡して「ワイズメン」と言うフレーズを借りる許可を得ました。その後、ウィル・クレッシーはトレドワイズメンズクラブの名誉メンバーになりました。

1920年頃、サービスクラブ時代がロータリークラブの設立と共にシドニー(ノバスコシア州、カナダ)に誕生致しました。多くの人々が興味を持つようになりました。しかし、全ての人々が一つのクラブに受け入れられるわけではありませんでした。

1920-21年のころ、ヘンリー・G・ポープ(シドニーYMCAの主事)は、YMCA内にサービスクラブを設立する可能性について考えていました。彼は組織の一部のメンバーに彼の考えを伝え、その結果そのようなクラブが作られました。1921年の夏、体育担当ダイ



レクターのフレッド・ハーマンはコーチチン湖の講習から戻り、Tolymcaクラブに関する情報を持ち帰りました。ヘンリー・ポープは、シドニーグループに何が必要かに関する答えを見つけて、YMCAメンズクラブを組織し始めました。1922年5月、彼らはオハイオ州におけるワイズメンズクラブの設立に関するさらに詳しい情報を得ました。

ワイズメンズクラブに関するこの情報は、シドニークラブのプログラムに丁度合う様に思われました。1922年9月の日曜日の午後、興味を持つ男性達の会議がエドワード岬のYMCAキャンプ場で開催されました。新しく作られたワイズメンズクラブの方式の下、秋の間にチャーター申請をする決定がなされました。この秋の間、より多数からなるグループの支持を得て、オハイオのグループからの要求も反映されたのちチャーター申請がなされ、1923年1月10日の会合でチャーター状が与えられました。このチャーター状贈呈によって、このクラブは、国際的な運動になりました。シドニーワイズメンズクラブは、私たちの運動を国際的な視野を持たせたとする功績を持っています。



## 初期

シドニーワイズメンズクラブの最初の会長は、フランク・J・クロッソンでした。彼は、ドミニオン・スチール・コール会社の部長秘書でした。クラブの書記は、フレッド・A・マックイニス。







左から右へ、バックキー・ブキャナン(96歳、ワイズ歴は61年)、ハリー・ヘンダーソン(94歳、ワイズ歴は65年)、サンディー・レイノルズ(70歳、ワイズ歴は49年)

彼らがクラブに加わった理由は様々です。バックキーは、仕事仲間からの誘いを受け入れました。ハリーは、YMCAのユースグループの活動を通じ自然と参加しました。そしてサンディーは、彼の有名な父親であるアルフレインルズ、YMIのBF貢献の賞の名称に皆の名前が使われていますが、の影響です。

会計は、ウィリアム・L・カーソンで、シドニーのノバスコシア銀行のマネージャーでした。

ワイズメンズクラブ代表の大会は、1922年11月にアトランチックシティにて開催されました。シドニークラブは代表を送る様に促されました。そして、ヘンリー・G・ポープが出席しました。この会合にて、ワイズメンズクラブ国際協会が設立されました。シドニークラブは、チャーターはまだでしたが、参加を受け入れられました。初代国際会長は、トレドクラブのポール・ウィリアム・アレキサンダー。初代副会長は、シドニークラブのメルビン・R・チャペルでした。ワイズメンズクラブを設立する事の意義のひとつは、YMCAの力強い右腕になることでした。この点では、シドニーグルー

9ページより

しいフロンティアに手を差し伸べる」ことでした。彼の任期中に、「グラッドストーン・テヴァタサン基金」が、第9回アジア地域大会の余剰金で設立されました。この基金から得られた利子は、スリランカのワイズメンが海外の大会に参加するのを支援するために使用されることになっていました。

ワイズとYMCAのパートナーシップの原則は、1983年6月18日に署名され、これらの2つの組織の間に存在する強力な歴史的絆を強調するとともに、彼らが奉仕するコミュニ

ティの利益のために協力することを誓いました。同じ年に新しいクラブが設立され(コーペイ、1983)、モラトゥワクラブはその年の「ベストクラブ」に選ばれました。2015年、スリランカのワイズメンとワイズメネットは、コロンボワイズメンズクラブを通して、スリランカの地でワイズ運動が85年目を迎えたことを顕彰しました。ワイズ運動の他のすべての地と同様に、スリランカでも会員数の増強は低下しています。新しい覚醒が起こり、ワイズ運動が再び成長する時が近づいているかもしれません。

最初の活動は、子供たちのために、おもちゃとキャンディーと共にクリスマス・ディナーを提供する事でした。初期の問題は、いくつかの他の組織も同じ様なことを行っていたことでした。すべての組織が集まり、ワイズメンが全責任を持って、必要な子供たちにおもちゃ、キャンディー、果物を提供することに合意しました。クラブは、今日にいたるまでこのプログラムを運営し続けています。この事業は毎年約300人の子供達を助けています。

長年にわたる定例のクラブ・プロジェクトは、以下のとおりです。

\*手助けが必要な子供達へのクリスマス・チアーププログラム(1923年から現在)

\*YMCA キャンプ(1940年代初め)

\*YMCA ボウリング場(1957年)

\*様々なショー(男性ワイズ・レビュー、1940-60)

\*様々な食事

\*市民病院内の図書館(1927年)

\*クリスマスツリー販売

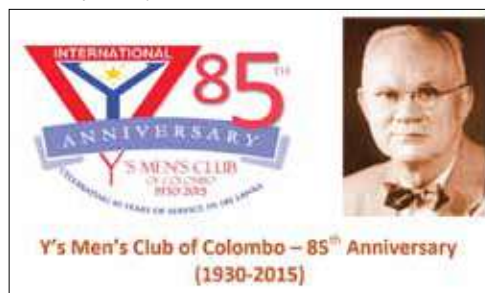
\*プランター・ピーナッツ販売

\*豚肉販売(ロベルタ豚)

\*ソーブボックス・ダービー

\*スペシャル・オリムピックス

奉仕の歴史の100周年を控え、私たちは、新しい世代のクラブメンバーによって、地域社会により大きく貢献する事を望んでいます。



コロンボワイズメンズクラブ 85周年 (1930-2015)

## 私達の遺産の一つを称える

調査・執筆:国際ヒストリアン、デビー・レドモンド

ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事については、これまで多くの記事が書かれているのに、彼の妻、ロレーン・マーシャル・イトン・アレキサンダーについては、これまでほとんど書かれていません。事実、彼女は、ワイズメンの会員ではありませんでした。しかし実際は、ロレーンは、団体組織全体の真の支持者であって、本当に素晴らしい人でした。ロレーンは、彼女の夫と同じ年の1888年に生まれています。彼女は、マサチューセッツ州のナティックで生まれ、その周辺で育っています。ハリエット・フンダーズ・イトンとフランク・イトンの間には一人の子供、ロレーンしかいませんでした。ロレーンのミドルネームは、「マーシャル」でしたが、それは彼女の父方の祖父の名前で、実際、彼らの息子や孫に受け継がれていました。フランク・イトンは音楽家として仕事をしていて、後にボストンに移っています。ロレーンの母ハリエットは、音楽教師として記録されています。両親は、ロレーンが学校教育を終えるころに離婚しています。母ハリエットとロレーンは、ハリエットの家族のところに戻り、そこでロレーンは、ハリエットの両親が亡くなるまで世話をしています。ロレーンは、マサチューセッツのウェルズリーカレッジに在学し卒業しています。彼女は、1909年に卒業し、その年から結婚した1918年まで教師として働いていました。彼女は、高校の音楽教師として、ナティックとマサチューセッツ州の別の町、アーリントンで教えていました。

ポールとロレーンがどのように知り合ったのかは分かっていませんが、仮説としては、ポールがマサチューセッツ州のケンブリッジ(ロレーンの家があったナティックからそう遠くは

ありません)にあるハーバード大学法学部の学生の頃に彼らが出会ったのではと考えられます。ポールとロレーンがお互いに本が好きであったことと、共に音楽家と音楽教師としての家庭を持っていたのが彼らを引き付けたのではと言えます。

ポールは大学卒業後、オハイオ州トレドで法律家として仕事を始めました。彼らは、片方が、あるいは相互に、列車での長距離恋愛の旅の往復をしていたに違いありません。彼らは、1918年7月13日にマサチューセッツ州ブルックリンで結婚し、ロレーンは母のハリエットと共にオハイオ州トレドに移っています。彼らの結婚後数年間、ハリエット・イトン(ロレーンの母親)とメアリー・アレキサンダー(ポールの母親)は、ともにポールとロレーンと一緒に住んでいました。1920年には、コンスタンス・ハリエット・アレキサンダーが生まれています。1921年には家族は最初の家を、トレドの郊外のオハイオ州モーミーに購入しています。彼らの息子、マーシャル・ブルース・アレキサンダーは、1922年に生まれています。



ロレーン・アレキサンダー

### 共に使命を

アレキサンダー夫妻は、何年にも亘ってワイズメンのイベントに参加するために一緒に旅行しました。資料庫には、彼らが1924年にアメリカのコロラドから最終的にはカナダのバンクーバーまで行った旅を記したスクラップブックが残っています。ふたりは、その旅行とカナダでの時間を楽しんだようでしたし、カナダでの国際大会では、「名誉カナダ市民」の称号を授与されています。1947年のオハイオ州トレドでの国際大会(25周年記念大会)では、ポールとロレーンはYMCAに於いて、大会参加者のために「茶会」を主催し、参加者からは銀製の紅茶セットを贈られています。1955年には2人は一緒に英国での会議のために出かけています。孫のマーシャルは、1956年頃に彼らとシカゴに旅して、祖父は、昼間は会議に参加し、夜はマーシャルをジャズの演奏に連れて行ってくれたことを覚えていました。

1930年の国勢調査の記録には、ロレーンは、英文学の「講師」の職にあると記されています。実際、ロレーンはオハイオ州やミシガン州の内外を巡り、本や本の題材に



「名誉カナダ市民」証明書を見せるポールとロレーン



関する話をしています。ロレーンについて書かれた文章のひとつには、彼女が1年間に平均約300冊の本を読んでいたと記しています。娘のコンスタンスの学生時代には、彼女が読書クラブを組織するのを手伝い、毎週金曜日の放課後、自宅を開放していました。彼女はすべての世代のために、文学の強い支持者でした。

### 個人的な悲劇

1931年に、ポールとロレーンの息子のマーシャルが9歳で亡くなっています。多分その死因は、リウマチ熱とか、猩紅(しょうこう)熱とか、あるいはその他の幼児に特有の病気によるものだったと思われます。マーシャルは、火葬に付され、その遺灰は、ウッドローン墓地のロバート・レーン(ポールの母方のおじ)墓地区画に埋葬されました。ロレーンは、文学に関する様々な講義をしながら働き続けました。

1921年から1967年のポールの死去まで、アレクサン

ダー家の住まいは、オハイオ州モーミー(トレドの郊外)にありました。何年にも亘って、多くのワイズメンがこの家まで旅をして訪ねています。3人の孫たちは、家には多くの本があり、また、ピアノもあって、それをしばしば判事が演奏したのを覚えています。家は、ロレーンが強い関係を持っていた公共図書館(ポールも、1922年から1936年まで図書館の理事会の一員でした)とは道路を挟んですぐのところにあります。ロレーンは、1968年の8月に亡くなり、アレクサンダー夫妻でしたが、それは彼女の夫の死から13ヶ月後でした。判事とロレーンは、共に火葬に付され、彼らの遺灰は、1968年9月27日に、彼らの息子、マーシャルの近くに並んで埋葬されました。



## 次世紀に向けて

100周年の日が日毎に近づくにつれて、過去に蓄積した成果と私達自身の課題を振り返るのはとても楽しいものです。ヒストリアンとして私の目標は、すべての歴史を記録し、それを会員が利用できるようにすることです。現在、ポール・ウィリアム・アレクサンダー遺産プロジェクトの資金調達に取り組んでいます。その資金の一部は、すでに受け取り、蓄積した資料をデジタル化し、望むらくは、私たちの豊かな歴史に付け加えることです。例えば、1922年以降にはかなり

早く加盟国が加えられて、1923年はカナダ、1924年は中国(上海)、1926年はハワイ(当時はアメリカの一部ではありませんでした)とオーストラリア、1928年にはエストニアと日本もリストに加えられたことをご存知ですか?ノルウェーのスタヴァンゲルは、1958年11月22日にチャーターされたノルウェーで最初のワイズメンズクラブでした。

国際ヒストリアン デビー・レドモンド



ノルウェーのスタヴァンゲル・ワイズメンズクラブのメンバー達がそのバナーと1958年のチャーター状とともに

## YMI がロンドンでの YMCA 175 周年に参加

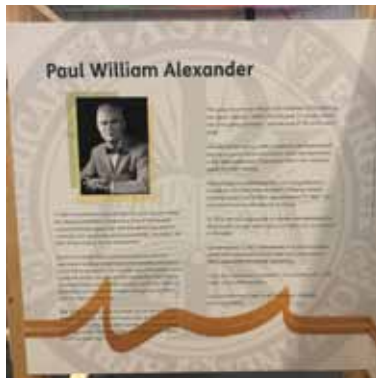
2019年8月4日、100ヶ国から3,000人以上のYMCAの若者、スタッフ、ゲスト、ボランティアがテムズ川の河辺のロンドン ExCeL に集まり、YMCA175周年行事の開始を祝いました。

ワイズメンズクラブ国際協会として、国際会長、国際書記長、およびヨーロッパ、アジア、ラテンアメリカ、アフリカ地域のリーダー何名かが出席しました。会場内には、ワイズ活動に興味を持ってもらえるような情報ブースも設置しました。

開会式では、ジャヤトマ・ウイクラマナヤケ・ユース担当国連事務総長特使の開会基調講演で始まりました。「皆さんは、明日のリーダーだけでなく、今日のリーダーでもあります」と彼女は、述べました。

TED-Ed に指導された若いリーダー達は、感動的で訴えかける話題をステージ上で披露し、若い男女に対して、声をかけ、行動し、みんなに聞いてもらい、諦めないようにと促しました。

その他のイベントの日々には、インパクトのある基調講演



遺産展でアレキサンダー判事への賛辞

やワークショップ等、さまざまなテーマと問題に関するパネルディスカッションが行われました。

YMI は、ジェニファー・ジョーンズ国際会長、ジョース・ヴァルギース国際書記長、ヨーロッパ地域会長のウルリック・ラウリッセンがリードするパネルディスカッションを開催しました。英国のワイズメンバーのひとり、次のように書いています。「彼らの話は、とても興味深いものでした。ワイズメンや Y サービスクラブを今まで聞いたことが無い人もありましたが、ということは、やがて、彼らの身近で、自分達のグループを立ち上げるようなことも起こるかも知れません。そこには何人かのワイズメンもいましたが、言いたいことを伝えることができたという点で良かったと思います。」

YMI のリーダーたちは、イベントの傍らで YMCA のリーダーたちと会い、YMCA の支援と協力を得て、新しいクラブの設立の可能性を探りました。

種々の報告から



イベントのコンテンツパートナーとしてのワイズメンズクラブ国際協会:YMCA のこの歴史的な祝賀会で、ワイズメンズクラブがコンテンツパートナーとして参加し、アレキサンダー奨学資金を通じて 10,000 スイスフランを寄付し、イベントへのリソースパーソン / 講演者を呼ぶ費用に充てられました。



ウルリック・ラウリッセンヨーロッパ地域会長およびジェニファー・ジョーンズ国際会長がベンジャミン・コシーインド YMCA 同盟会長とともに



ジョース国際書記長は、南ロンドンのモーリスと、20人のシエラレオネ出身者で南ロンドンにワイズメンズクラブを設立することについて素晴らしい話し合いを行いました。モーリスは、1970年代にフリータウンクラブのチャーターメンバーでした。

### 国連総会議長との特別セッション



コンボワイズメンズクラブ会長の Petrit Bejdoni, YMCA CEO の Dorina Davies とそのスタッフの 2 人, Dorina Glogjani と Nita Gjoshi がワイズの情報ブースでジェニファー・ジョーンズ国際会長などと会いました。



マリア・フェルナンダ・エスピノサ・ガルセス国連総会議長とともにワイズメンズクラブ国際協会と YMCA のリーダー達



## 香港:幸せを広げて

香港ボヒニア・クラブは、会長のエディス・ローに率いられ、中国・東莞市・樟木頭の高齢者 180 人が生活する施設を訪問しました。この訪問は、アジア太平洋地域・PR 担当事業主任のアンディー・フーと新任の香港部部長ジョアン・ウォンが支援、同行し、幸せを広げるミッションの実行でした。

香港からの一行は、22 名のワイズ会員と彼らの友人で、マジックショー、フルート演奏、太極拳、コーラス、ダンスなどを披露し、現地の皆さんに、十分に楽しんでいただきました。お小遣いや、福袋がこの国境を越えた奉仕活動で高齢者に配られました。さらに、高齢者の誕生祝いも行われ、大変喜ばれ、この訪問に花を添えました。

アジア太平洋地域・PR 担当事業主任:アンディー・フー



幸せな高齢者のグループが食事を楽しむ



クラブ会長のエディス・ローがお小遣いを渡す

## ロシア:暖かさと励ましを持っていく

それは 600 キロの旅、73 個のプレゼント、5 キロのキャンディーやチョコレート、10キロのオレンジ。これらの数字は、遠く離れたレニングラード州の孤児院への訪問に関連する数字です。それは、その子どもたちに暖かさと励ましを持っていくためにヴェセナワイズメンズクラブがサンクトペテルブルグある 3 つのクラブとボランティアの支援を受け計画されたものでした。スポンサーにも恵まれ、子供へのリュックサックや、暖かいセーター、サプライズを持参することができました。上のふたつの写真は、その様子です。

マリナ・マカロヴァ



触れること、笑顔、優しい言葉、耳を傾けること、正直な賛辞、または思いやりのある小さな行為の力を過小評価することがよくありますが、これらはすべて人生を変える可能性があります。

フェリス・レオナルド・ブスカリア博士 教授・作家



## ロシア:健康によいことは、精神にもよいことだ

エカテリブルクワイズメンズクラブ(ロシア区、ウラル・シベリア部)は、23回目のクラブ誕生を、普通の月並みのやり方でない方法で祝うことを決めました。それは自転車に乗る(バイク・ライド)というやりかたです。なぜって?

私たちの会員の何人かは、Agafurovs 博物館と親しく、博物館の催に常に関わっています。(これは概ね元部長 Laris Konovalova のおかげです)。19世紀終わりに、タートル王朝の Agafurovs 家は、健康なライフスタイルとスポーツを愛し、また、芸術と技術革新を奨励・保護をしたことで有名です。彼らの趣味のひとつは、サイクリングでした。彼らの店では自転車が売られ、また、彼らは、よきサイクリング愛好家で、市民もサイクリングを行いました。

彼らの財政的支援を受けて大競技場(Palace of Youthの近く)、競輪場(現在のエカテリブルクアリーナのすぐ隣)、

さらに、健康増進協会の展示館などが建てられました。これらの地域の近くが、私たちの今回のバイク・ライドの会場です。各拠点で学芸員が自転車に乗ったみなさんに100年前のその場所の写真を見せて、当時何があったかを説明しました。ある地点から次の地点に移動しながら、自転車に乗った参加者は、この素晴らしい街の歴史を発見しました。

終点は、Agafurovs 博物館でのお茶で終わりました。そこでエカテリブルク2やその他のクラブの人々の祝福を受けました。さらにタートル人を祖先に持つ若者のグループにも出会いました。全ての参加者は、活発にバイク・ライドの効用を語り合いました。

過去と現在を繋げ、若者を、街の歴史とワイズの慈善活動に巻き込んだ素晴らしい経験でした。

Irina Mamaeva, エカテリブルククラブ



さあ、出発だ! 自転車で探検の旅に



終わりに、サイクリングを振り返り、そしてみんなでポーズ

## 香港:慈善活動のために走る



9月1日、香港チム・シャー・チョイ(尖沙咀)ワイズメンズクラブは、香港映画俳優・スポーツ協会の慈善活動に協力して、Shek Kei Mei 地区に在住の独居老人に秋のお祭りに配る福袋の資金集めのためのチャリティーランを今年も行いました。右の写真:この活動に参加したクラブリーダーたち





## 米国:ウェイクフィールド - レディングクラブの成功した年

ウェイクフィールド-レディング Y サービスクラブは、YMCA と地域のコミュニティに対して奉仕を続けて 100 年近くを迎えるにあたり、大成功となった年を迎えました。私たちの地域を代表し、アメリカでも最古の継続的に運営されている Y サービスクラブであることを誇りに思います。当クラブが前進し続けることができるのは、メンバーの貢献があるからです。クラブとして、少なくとも月に 1 回、例会を持ちます。そして毎年の募金活動の準備のためには、より頻繁に例会を開催します。



屋外でクリスマスツリーの販売をするメンバー

当クラブは、ウェイクフィールド YMCA、現在はマサチューセッツ州レディングのバーバンク YMCA との長い関係を享受しています。そして私たちは、YMCA のプログラムの 2 番目の貢献者で、エグゼクティブディレクターのジョン・フェウドが私たちと協力して当クラブを宣伝し、新しいメンバーを探してくれています。バーバンク YMCA は毎年 250,000 ドル以上を 5 つの地域コミュニティに対して財政支援をしています。

クラブ員の労力の大半は、毎年恒例のクリスマスツリーとリースの販売に注がれています。ツリー売り場は、感謝祭からクリスマスイブまでの毎日午前 9 時から午後 9 時まで営業しています。今年は、900 本近いツリーと 200 個のリースを販売しました。販売利益の記録の更新を再び迎えることができました。史上初めて売り上げが、20,000 ドルを超えました。

2019 年 2 月 13 日、メンバー、ボランティア、ゲストが、レディ



クリスマスツリー販売



屋外でクリスマスツリー販売の宣伝をするメンバー

ングシニアセンターで成功した寄附金活動者を祝うため、クラブ主催の夕食会に出席しました。当クラブの最古参メンバーであるノーマン・キャンベルは、私たちのクラブの時系列の歴史を紹介し、そして奉仕賞を当クラブの会計で YMCA の元ディレクターであるボブ・ブラウンに授与しました。彼は、40 年以上にわたって私たちのクラブと YMCA に貢献しました。

記録的なクリスマスツリー販売の結果、私たちのクラブはすべての分野で寄付を増やすことになるでしょう。毎年、タイムオブファースト、ロールバックマラリア、EF、BF 基金、アレキサンダー奨学資金、Dollars for Scholars (アメリカ地区のプログラム) などを含む、すべてのワイズメンズクラブ国際協会のプログラムに貢献しています。地域の学生のために 5 つの恒久的な奨学金を後援し、私たち自身の奨学金を支給する計画があります。

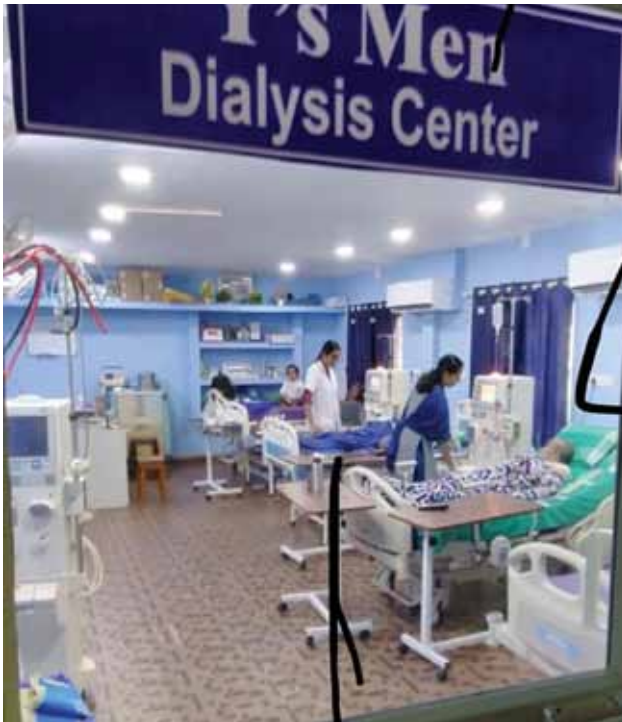
私たちは、新しいメンバーを募集し、維持するために絶えず努力していますが、それは難しい仕事です。ソーシャルメディアを活用し、若い才能を私たちのクラブに惹きつけるための新しいウェブサイトを立て、新会員を勧誘したいと思います。

会長、デビッド・ワークマン





## インド:医療サービスに焦点を当てる



emergency medical Service



ケララのチェンペリワイズメンズクラブ(西インド区)は、透析センターと緊急時における霊柩車を含む救急車サービス地域社会に貢献しています。

## 韓国:貧しいホームレスに対する奉仕



毎月第1水曜日に、韓国京畿道区のメンバーは、水原駅周辺の貧しいホームレスの人々100人以上に夕食を提供します。この奉仕活動は過去4年間に亘って行われています。

## コソボ:改装されたセンターとオフィス

ジャコバ・コソボワイズメンズクラブは、ジャコバの退職者センターの改修と自身の新しいオフィスの開設を祝いました。

これは私たちの親愛なる友人のアルネ・ヨルゲンセンとスポンサークラブのデンマーク・Hardernes ワイズメンズクラブの支援で可能になりました。ジャコバの老人福祉施設の改修を支援していただいたことに感謝いたします。

市内のすべての退職者にとって活動や社交のためのより良い場所が与えられて素晴らしい日となりました。

デンマーク区のフェイスブックより



ジャコバの退職者とワイズメン、新しいセンターにて





魂の真言

マックス・エディガー\*



## 夜に何の恐怖を感じることなく床につく

平和とは何を意味するのでしょうか?これはとても単純な質問であるにもかかわらず、多くの書物が平和に関する詳細かつ包括的な答えを出すために書かれてきました。紛争の中で生活している人達にとって、その答えは極めて単純かもしれませんが、意味深長なものです。

私の親友の一人は、1948年以來、ビルマの軍事政権に対して自治権を求める命懸けの闘争に関わっているビルマのカレン州で生活し、仕事についています。多くの村が軍隊によって破壊され、何十万人もの村人がタイ国内の難民キャンプで生活をしているか、カレン州の密林に国内避難民として身を潜めています。最近実施された選挙がビルマの厳しい軍事政権の支配に反抗する野党国民民主連盟に圧倒的な勝利をもたらしたにも拘らず、これらの難民や国内避難民の人達は、今も恐怖を感じ、辺境の地へ追いやられたと感じているのです。

私の友人は、これらの難民や国内避難民の人達に平和の意味をたずねてみたのです。彼は、私に、ある老婦人が言葉少なに以下のように語った話をしてくれました。「平和とは、夜に何の恐怖を感じることなく床につき、朝にその日について何の心配なく目覚めることなのです。」この答えは、選挙や憲法とはほとんど関係のないものでした。平和とは、全ての他者と平等な人として認められ、真に安全であるという感覚をもたらす権利と保護を与えられことなのです。人がそのような感覚を実際に経験できるまで、たとえ銃声が鳴り止み、最近実施された選挙結果に都会の住民が歓喜の声を上げたとしても、平和が訪れたと感じることはないのです。

ビルマが国民民主連名の指導のもとで新しい政治の時代に移行するにあたって、難民や国内避難民の人達が間違いなく平和が訪れたと実感できるように重大な問題に早急に取り組む必要があります。紛争が続いていた長年の間に、彼らは筆舌に尽くせない残虐行為に苦しんできたのです。彼ら全員が自分の家と多くの家族を失いました。彼らから日常の生活が奪われたのです。加害者と被害者を連帯させるに至った南アフリカの「真実と和解のための公聴会」がたどった過程と同じ過程をたどって、

マックス エディガーは、カンボジアで設立された「平和の学校」の運営責任者です。www.mennolink.org/peace  
アメリカ合衆国メソナイト教会平和・正義支援ネットワーク・ネット出版、ピースサインズの許可を得て転載。

語られることのなかった話が語られ、癒しの過程がやっと始まるのでしょうか?それともビルマが前進するためにこの紛争の被害者である難民や国内避難民の人達に全てを水に流すようにと告げられるのでしょうか?彼らは、「夜に何の恐怖を感じることなく床につき、朝にその日について何の心配なく目覚めることができる」過程が始まることを待ち望んでいるのです。

世界中の難民や国内避難民の人達の苦しみは、全ての

**世界中の難民や国内避難民の人達の苦しみは、全ての人々の心を動かすはずで、それによって哀れみの感情を生み、癒しがもたらされることになるでしょう。**

情を生み、癒しがもたらされることになるでしょう。現在何十万人もの難民がシリアの紛争を逃れて、安心して眠れる夜と子供達の心配をする必要のない一日を迎えることのできる家を探し求めているのです。残念なことにこの事実が、シリア難民を受け入れるべきだと考える人達と彼らをアメリカから締め出すべき潜在的なテロリストであると烙印を押し

す人達の間で合衆国を二分する激しい議論を生んでいます。ここで私達は、全員がもう一つの質問について熟考すべきです。イエスであればどうするのでしょうか?安全性が高まると感じて難民の人達を締め出すのでしょうか?それとも自分の子供として両手を広げて彼らを喜んで受け入れるのでしょうか?私達はこの質問を心に留めて難民や国内避難民の人達が置かれている窮状に目を向ける勇気を持つ必要があります。私達の信仰は、私達の決断を正しく導かなければなりません。なぜなら私達の決断が最終的に私達の信仰がいかなるものであるかを明確に示すことになるからです。



Y's Men International  
**YMI WORLD**

"To acknowledge the duty that accompanies every right" Only for private distribution to members

クラブの指導的立場にあるメンバーは、実施した活動に関する記事を1枚以上の高解像度の写真と適切な短い説明文を付けて国際本部に送られることをお勧めします。記事は、150語(英語)以内でお願いします。読者の皆さんもグローバルな我々の運動に関する関心事について、ご意見や原稿をお寄せ下さい。

記事と写真を [www.ysmen.org/yimiworld](http://www.ysmen.org/yimiworld) にお送り下さい。

次号掲載記事の提出締切日:2019年11月30日





# Y'S MEN INTERNATIONAL

To acknowledge the duty that  
accompanies every right

ワイズメンズクラブ国際協会

強い義務感を持つ  
義務はすべての権利に伴う

We are committed to  
making the world a better  
place by addressing its  
most urgent needs.

私たちは、最も緊急に行うべき課題に取り組み、  
この世界をよりよいものにすることに献身しています。  
クラブに入会してください。

あなたの人生を、喜びと友情と  
意義深い奉仕で充電してください

詳細は、以下をご覧ください

[www.ysmen.org](http://www.ysmen.org)